

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	J R 飯田線活性化期成同盟会イベント列車 ① 「JR 飯田線秋の呑み歩きトレイン」 ② 「JR 飯田線で行く！冬の信州駒ヶ根体感ツアー」
事業主体 (連絡先)	JR 飯田線活性化期成同盟会 (駒ヶ根市赤須町 20-1 駒ヶ根市総務部企画振興課 電話 025-83-2111)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,969,454 円 (うち支援金：1,336,000 円)

事業内容

飯田線の利用機会や、利用促進を図るために、地域住民と協働しながら事業を実施し、飯田線を活かした地域づくりや地域活性化を推進すること。

【事業①：JR 飯田線秋の呑み歩きトレイン】

伊那北、七久保、飯田各駅にて地元のお酒のふるまいを行い、地域ごとのお酒の違いを移動しながら楽しんでもらう。また、あわせて、同日伊那市内で開催する「伊那街道 秋の呑み歩き」イベントへ参加した。

【事業②：JR 飯田線で行く！冬の信州駒ヶ根体感ツアー】

JR 飯田線を使用し、中京地域に住まひの皆様のうち、「移住」に興味のある方を中心に南信州～駒ヶ根までを紹介しながら列車を運行し、車内での移住相談などを開催した。



【JR 飯田線秋の呑み歩きトレイン】



【JR 飯田線で行く！冬の信州駒ヶ根体感ツアー】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

【事業①】

地域のイベントと協働した企画のため、相乗効果を得られ、飯田線利用と地域活性化を同時に図ることが出来た。他地域からの集客を図り、交流人口の拡大に寄与した。

【事業②】

他地域からの集客とともに、今後移住や二地域居住を考える参加者に南信州の PR を行うことによる宣伝効果や、寒い冬を体感いただくことで、より移住等を考える上で参考となる情報の提供が行えた。今後のリニア中央新幹線の開通も移住に向けた今後の検討材料となることを伝えることができた。

【目標・ねらい】

- ・飯田線利用人数の増加
- ・飯田線利用への啓発
- ・地域活性化

※自己評価 【A】

- ① 参加者募集の広告や告知などの効果で、定員より多くの申込や反響があった。また、地域のイベントへの集客にも効果があった。
- ② 新たな飯田線利用者の開拓や飯田線の取り組みなどを広く周知することができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

継続的にイベント列車の運行することにより、飯田線のPR及び利用促進に努めるとともに、飯田線の新たな利用者の開拓を図る。また、イベントなどに関連して飯田線の利用啓発を行うことにより、イベント集客と飯田線利用促進の相乗効果を狙う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある